

産業構造審議会2050経済社会構造部会(第6回)

第四次産業革命に向けた産業構造の課題と方向性

「今後の政策課題」への提言



株式会社ポピンズ

代表取締役社長 轟 麻衣子



「人の変革」

【提言】未来のために投資すべきは「乳幼児教育の質の向上」

1. 乳幼児期の保育・教育の質の向上について、 省庁の垣根を越えた議論と乳幼児教育の強化が必要

- 第四次産業革命に向けて、機械やAIでは代替できない創造性や感性といった能力（非認知能力）やスキルを具備する人材を育てていく必要がある
- 非認知能力は乳幼児期からの教育が大きく影響する。大学院からでは遅い
ジェームス・J・ヘックマン教授（ノーベル賞経済学者）『幼児教育の経済学』
“子どもの教育に国が公共政策としてお金を使うならば、就学前の乳幼児期が効果的”
- 脳の約80%が乳幼児期に完成する
ジャック・シヨンコフ教授（ハーバード大学児童発達研究所所長）
- 省庁の垣根を越えた議論が必要
女性の就業率があがるにつれ、就学前児童を幼稚園・保育園で預かるのが当たり前の時代。
保育の無償化だけではなく、乳幼児期の質の向上についても議論が必要



「組織の変革」

【提言】中小企業・老舗企業とIT企業の出会いの場の創出

2. 中小企業・老舗企業とITを繋ぐプラットフォームの創設

中小企業が新たなIT技術を簡易に知る機会創出が必要

- **日本の99.7%が中小企業**

IT化を進めるとしても何に活かしていいかわからない、どう活かしていいかわからないという中小企業、特に老舗企業は多い

- **中小企業のITツール利活用は未だ不十分で、活用度合を高める余地は大きい**

一般オフィスシステムと電子メールであっても、売上の最小規模企業群では4割を切る程度の利活用率しかない。（2018年版中小企業白書）

- **(例)ポピンズ 2017年にベビーシッターマッチング企業「スマートシッター」を買収**



- ・ポピンズは、ITを活用したベビーシッターマッチングのノウハウを獲得
- ・スマートシッターは、ベビーシッターの質を向上させるノウハウを獲得

両社共、自社のサービスを向上させるノウハウを得ることができた
→オープンイノベーションの推進の必要性を認識